

これからのことを… (3)

●今を知る(1)



時計草



ハイビスカス



アナベル

当たり前が当たり前でなくなった

例年のまるごと館たよりは、まるごと館で取り組んで来たことやこれからしようとするをグダグダと11年もの間書いて来ましたが、それがこの数ヶ月出来なくなってきた。

前の4月5月のまるごと館たよりに、「人が集まる場」としてはこのコロナ禍の状況が辛いと、筆者の愚痴のようなものを書きました。

まるごと館の3月、4月、5月の予定の中でコンサートをはじめ、まるごと市、歴史を訪ねての八幡歩き、パソコン教室、歴史講座にお話会、折り紙教室等を中止または延期に。今までの当たり前が当たり前ではなくなった。どなたもがそれぞれにそんな経験をお持ちではないでしょうか。

こんな中、休み間もなく働いて来られた方々は愚痴どころではなく、本当に奮闘されておら

れたし、今もそうです。そういう方々に本当に申し訳ない気持ちに。

コロナ関連のテレビは余り見ないようにして2ヶ月余り、ぼんやりではありましたが、今の状況をとらえようと少しは努力をしてきて、今経験していることや特に疑問を抱いたことをまるごと館たよりに書いておこうと思いました。

初めての経験だけれど…

こういうことがないと知らなかったであろうスペイン風邪。第1次大戦の時、アメリカ発のインフルエンザが世界中で猛威を。戦争時の船の中で感染が広まり、ヨーロッパに。さらに、その植民地を介して世界中に。日本でも1918年統治中であった台湾に巡行した力士から。

1918年スペイン風邪流行日本



世界では5億人が感染、死者が1700万~5000万人。日本でも1波から3波で

40万人前後亡くなった。ここで、出口康夫さん×藤原辰史さんの「立ち止まって考える」(京都大学人社未来開発信ユニット)を参考に。

スペイン風邪と今の新型コロナとの類似点の1つ目は戦争で人の移動が非常に激しかったということ。スペイン風邪は戦争を介して、今は飛行機で世界各国への旅行で。

2つ目は初動の遅れ。戦争時は相手の国に勝つことが目的で、具合が悪くても言い出しにくい状況があったのではないかと。密集した船の中で。今回では日本で行われるオリンピック等のことが頭にあったように思



スペイン風邪アメリカ陸軍基地での治療

います。それと4月の中国習近平の来日の件で水際対策が遅れたとよく報道されてきました。

第一次世界大戦時、スペインは中立国であって、インフルエンザの国内感染情報を流しただけで、スペインを冠にした間違っただけの名前を付けられた。スペイン風邪と。対戦国同士はそういう情報を流さないの。

スペイン風邪によるパンデミックの教訓は必ず今まで社会的に弱い立場にある人にしわ寄せが行くということが言われています。載せている2枚のモノクロ写真はネット検索で。アメリカの陸軍基地の写真はまるで今回の中国武漢の病院に似ています。

コロナが露わにしたものは①

地球温暖化によって熱波・洪水・森林災

害などの自然災害が頻繁に発生するようになりまし。最近ではオーストラリアの森林火災。2019年末から2020年2月まで続いた。2月の大雨でやっと終息に。人や多くの動物が犠牲になりました。コアラだって。人間も自然の一部であるのに、それを忘れたかのような振る舞いが自然破壊、森林破壊を引き起こし、それまで穏やかに生息していたのに、今回、人間に住みつくようになったのが新型コロナウイルス。特に都会ほど、人が多く密でウイルスの絶好の引越場所だと言われる。

まだまだ科学で解明されていない微生物がたくさんいる可能性があり、このまま人間が同じ方向につき進めば、何度でも起こり得るとの警鐘か。100年に一回どころではなくなる。

コロナの日々

感じたことはたくさんあります。

テレビを見ていたら、コロナのことだらけ。しかも、クルーズ船の時からずっと、今に至るまで陣頭指揮を執っている人が誰かわからないし、皆で協力していく形が見えない。

けれど、昼夜分かたず働いておられた方々がいらっしやっただけからこそも何かこれらの日々を過ごしてきたと言えるのでしょう。感染者と死者数は毎日報告されても、どういことなのかはわからない。ひとりひとり個性を持った人間なのに、数字でカウントされてしまういたたまれなさの中、その数にビクビクしてしまっている自分がいました。

まるごと館はずっと開けていたのですが、特に4月には来られる人が少なかったし、これからの2波3波を思うと集まることの難しさを思います。秋冬も。

寂しさを感じましたが、この機会にまるごと館のことを考えてみるのもいいこ

八幡まるごと館だより

2020年6月15日/127号

<発行>八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

とだと、思い至りました。

コロナが露わにした②特筆すべきこと

特に医療従事者の方々を始め介護士、保健所の方々、スーパーの方々、清掃関係、運送等の方々は休みなく、働いてこられた。この危機の時の社会の一番の力に、今生きている人にとっては初めての経験だけれど、彼や彼女たちのおかげで日常生活が回っていると言っても過言ではありません。普段からそうなのでしょうが、より鮮明にそのことがわかりました。

コロナが露わにしたものは③

そして、とても気になったことは休業要請されても生活出来ない方々はどうするでしょうか。自ら命を絶たれた方も。

そして自粛警察のような動きが頻繁に。自分自身がそんな発想を秘めていないか、考えてみるのも大事ななと何度も思いました。何が原因でそういう動きが出てくるのか。国が要請だけして、自己責任で休業の形を迫る風になって、言ってみたら国民同士で一方的だけやっつけるという形。勿論、感染のリスクというあたりはわかりますが、多分要請・補償、というやり方や上に立つ人の指導力から来ているのではないかと。

「新しい生活様式」って言われても、色々な立場で考えてみると難しい方もおられます。そういう想像力を働かせて作られたものでしょうか。どうしても「弱い」立場の方々にその様子が襲い掛かるように思われるのです。

まだ解明されていないウイルスですから、く

<5月にこんなことをしました>

絵手紙講習会



13日 参加された方は5人。多い時で24人の時がありましたから、少ないです。丸7年になりますが、色々な方と知り合ってお話が出来てきたの

れぐれも十分気をつけることにこしたことはありません。2波、3波がありますから。海外ではアメリカの皆保険でない状態の中、黒人の死者数が白人の2倍以上にあたると聞く、病院がない地域では見てもらうことさえできないと。コロナは弱い所に強く。

アフターコロナへの展望

『国が何をして、何ができて何が出来なかったか。国家は唯一、合法的に人の基本的人権や所有権を奪える組織だから、チェックが必要』、『この危機を乗り越えられるのは、医療従事者、保健所の人びと、介護士、保育士、農林漁業従事者、清掃従事者、貧困者や障害者を支えている人びと、工場労働者、接客業、郵便配達や輸送に関わる人びと、家庭の家事を担う人びと、ライフラインのメンテナンスをする人びとなど』。普段は仕事の価値をみとめられていない職種が多く、蔑視で見られる人びともおられる。これらの方々が滅敵を持って生きていける社会を作ることが大切と。このことはスペイン風邪のあと人類がなしえなかったことだという。これが藤原さんのコロナ後のお話です。まだ課題はあるように思いますが。又別機会に。

一日も早く集まれるように

以前と同じようには出来ないでしょうが、まると館がコミュニティとしての役割が果たせるように。この間何人もの方からお声かけいただき感謝しています。へこたれずに努力します。皆様方もどうかお元気で、まると館にお立ち寄りください。

が当たり前のことではないと思われ知らされました。いつもはまると館の全ての机の上に、描く素材がたくさん並ぶのですが、ちょっとで足りるのが複雑な心境に。森本玲子さんも少し寂しようにされておられたかなと思います。ちょっとずつ落ち着いてきて皆で賑やかにこの時間を共有できるようにすることを願ってやみません。

オカリひまわり

毎週月曜日 中々人が集まって演奏できませんが、今は慎重に行動したほうがいいので、状態が落ち着くのを待ちます。それまで、それぞれで練習をしましょうね。無心にオカリナを手にとって吹くだけで気分がかわっ

てくるのがわかります。今年はコンサートが開催できるかどうかわかりません。ちょっと先を視野に入れて、みなさんに要望の曲をお聞きして各自で練習するというのもいいかなど。5月は5人、6人という参加者でした。

八幡まるごと館 6月・7月の予定

休館 6月26日(金)

<パソコン教室> 毎週月曜日 10時～12時です 6月1日(月)10時～12時 講師吉田恒夫さん 参加費 300円(コーヒーつき) 6月8日、15日、22日、29日パソコンを持って来て下さい。
<オカリナクラブ ひまわり> 楽しめる時。 6月1日(月)13時～ 参加費100円 8日、15日、22日、29日 練習日は月曜日だけに
<ぬか床材料販売> あと3人分あります 例年講習会を行なっていますが、講師の方々や参加者の方々に集まっていたくのが難しいので、ぬか床材料をセットで販売いたしますのでご利用下さい。 材料【ぬか 1Kg みそ大1 昆布 5～10g 塩 160g 赤とうがらし 2本 サワドパン 1枚 ニンニク2片(醤油漬のニンニク)】とレシピをお渡し致します。200円です。
<絵手紙講習会> 6月10日(水)13時30分～ 講師 森本玲子さん参加費 400円(コーヒーつき) 次回は7月8日(水)です
<楽しい理科の実験 N032> ペットボトルの中に雲を作る 6月19日(金)13時30分～ 講師木下章司さん 参加費 300円(コーヒーつき) 持ち物 ペットボトル(500cc 炭酸水のペットボトル)
<歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N020> 6月25日(木)13時30分～ 講師出口修さん 参加費 100円 月1回です
<折り紙教室 第10回> パラの花の葉を作ります どうぞお楽しみに。 7月3日(金)13時30分～ 講師 出口宏子さん 参加費材料代は100円

<あんなこと・こんなこと>

*書きながら、読まれたら不安を余計に覚える方がおられるのではと思いつながりながら書いています。4月からですから、中々長い日々でした。ぼんやりしながらでしたが、コロナのことをどうとらえるかが、気になりました。

*国の取組みが本当に国民のことを考えてされていることか疑問に思うことが多々ありました。専門家と言われる方々が総力でコロナウイルスに取り組まれたら、きっといい成果が出るだろうと素人ながら思います。が、何故か縄張り争いのようなものを感じたことが何度もありました。国のトップの姿勢が伝わっているかのように。今からでも知恵を出し合

えば変わるはず。日本を始め東アジアで新型コロナの死者数が少ないことが話題になっています。生活習慣からとか、日本の対応が間違っていなかったとか色々です。でも、東アジアの中では日本は多い方です。きっと近いうちにそのことも解明されるのではないかと思います。

*皆さんは家に閉じこもっての苦しい日々を過ごされて来られた。学校も幼稚園も保育園も再開して、まると館の前の道路を小学生が通ります。賑やかな声。この子どもたちのためにもコロナが落ち着いてくれることを祈って止みません。顔寄せあって当たり前前に遊べ、マスクなしで出かけられるよう。(うえたに じゅんこ)